



福島県立梁川高等学校
平成31年4月10日
校長だより
知性 誠実 責任
第1号

■ 創立100周年、平成31年度のスタート

4月1日（月）、新しい元号の発表と同時に、平成31年度がスタートしました。今回の人事異動により、6名の教職員が転出し、新たに以下の6名が梁川高等学校教職員の仲間入りをしました。

校長	高澤 正男（国語）	福島県教育センター（主任指導主事）より
教諭	田中 祥子（数学）	福島西高等学校（教諭）より
教諭	原田 聖子（英語）	福島商業高等学校（教諭）より
教諭	野地 宏（商業）	大笹生支援学校（教諭）より
時間講師	樋口 則雄（数学）	福島明成高等学校（教諭）より
主査	菊池 圭子	福島県企画調整部地域づくり総室エネルギー課 (主査)より

今年度の梁川高校は、総勢32名の教職員で100年の歴史を有する学校を運営していきます。

■ 着任式と始業式

4月8日（月）、新2年生39名、新3年生37名、計76名が登校し、体育館で着任式と始業式が行われました。着任式では、新たに梁川高校の教職員となった先生方を生徒の皆さんに紹介しました。転入者を代表して、校長が次のようにあいさつをしました。

新しく梁川高校に勤めることになった先生方を代表してあいさつをさせていただきます。私たちは、生徒の皆さんが、この梁川高校で充実した高校生活を送り、大きく成長してくれることを望んでいます。そのために、他の先生方と一緒にがんばっていきますのでどうぞよろしくをお願いします。

着任式に引き続き、第1学期始業式が行われました。校長から以下のような話をしました。

最初に、皆さんに質問します。私の名前は何でしょう。わからないですね。先ほど言ったばかりなのですが。人は意識して聞こうとしないと聞こえません。これは見ることも同じです。見ようとしないと見えないのです。

皆さんは、平成13年、14年、15年生まれですね。平成の時代は4月30日で終わることは知っていますね。5月1日からは、新しい時代が始まります。新しい元号は、皆

さんすでに知っているように「令和（れいわ）」です。

元号について、ちょっと確認しておきましょう。こういったことを一般常識と言います。令和の前は平成です。ではその前は何でしょう。そうです。昭和です。ではその前は。そう大正です。ではその前は。そうですね。明治です。その前というと、ちょっと難しくなります。世の中には明治生まれの方もいらっしゃいます。明治から令和までは言えるようにしておきたいですね。

では、「令和」という元号は、どこから出てきたのでしょうか。目が輝いている人がいるので、わかっているようですね。国語の時間に古典の学習をしていると思います。『万葉集』という歌集があります。その中にあります。ただし、「令和」という言葉があるのではなく、「令」という文字と「和」という文字は、少し離れて書かれてあります。この二つの文字から「令和」という元号をつくったわけです。「和」は昭和でも使われました。元号では今までに20回使われています。「令」が使われるのは今回が初めてです。

今年は、「令和」という新しい時代が始まり、梁川高校は大正8年に学校ができてからちょうど100年になります。創立100周年です。ぜひ皆さんには、生き生きと高校生活を送り、たくましく成長してほしいと思います。11月2日（土）には創立100周年の行事があります。3年生、2年生の皆さんには活躍してもらおうようになります。みんなで、令和元年をすばらしい1年にしていきましょう。そして、梁川高校をますますすばらしい学校にしていきましょう。

■ 入学式

4月9日（火）に入学式があり、新入生29名が梁川高等学校の生徒として高校生活をスタートさせました。みんな新入生らしい期待に満ちた凛々しい表情で式に臨んでいました。校長式辞では、新入生に向けて次の話をしました。

新入生の皆さんが、新たな生活をスタートさせ、高校生活を充実させるために、二つのことをお願いしたいと思います。

一つ目は、失敗を恐れずに挑戦することです。皆さんは成長し続けています。中学生のときにできなかったことが、学びを重ねることでできるようになります。そして、知識や能力を身に付けると、視野が広がり挑戦すべきことが見えてきます。人生は挑戦の連続です。もちろん、失敗もあると思います。しかし高校での失敗は、貴重な経験として、皆さんをさらに成長させる糧となります。そして失敗をフォローし、そこから学ばせてくれるのは我々教師の役割です。

二つ目のお願いは、皆さんが学び身に付けた知識や能力を誰かのために役立ててください。ぜひ地域の活動などに積極的に参加しながら、地域に貢献する意義を考えてください。高校への入学にあたり、自分が学ぶ意味や将来果たすべき役割を考えてみてください。

創立100周年を迎え、令和元年となる年に入学した新入生の高校生活が、明るく充実したものになるよう、梁川高校ならではのきめ細やかな教育活動を展開していきます。